



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2010年3月26日号 No.139

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



みんなで手をつないでお散歩。かわいいですね。

6日間の予算審査特別委員会が終わりました
今年も多くの保育園待機児が！ まるで、『保育に欠ける』状況を細分化してある分けける？
 今年の区立・認可保育園へ入園希望をしても入れない待機児童数が、昨年を超えそうです。18日の審議で共産党区議団もこの問題を取り上げました。
 実はこの間、「上の2人は区立園に通っているのに3人目が保育園に入れなかった、どうしてかわからない」という相談を受けていました。しかもこの方はひとり親家庭なのです。議会審議の前に保育課に聞き取りをした結果、入園応募の時点でフルタイムの働き方ではなかった（2月下旬からフルタイム）子どもの父親が区内に住所がある（実態は援助を受けられる状態にないのに）どうもこれらが指数の「点数」を下げたようです。認可保育園は「保育に欠ける」

**ポスター貼り、訪問、宣伝
 元気の源は 地域にあり**

議会の合間を縫って連休の22日、朝から終日地域に出て、ポスター貼り、ハンドマイク宣伝や「しんぶん赤旗」をお勧めなどにまわりました。「政治を前に」のポスターもよく目立ちます（左）。音による宣伝に通行の方が会釈してくれたり、「さっき宣伝してたね」などと声がかかります（右）。やはり、町で“元気な共産党”が見えなくてはダメです。逆に私にとっても地域から元気をもらう感じです。



状況を細かなケースに分けて点数化して、高い方から順に入園を決めます。この方のように、今現在フルタイムで働いていても、「点数」が足りなく、結局入園できなくなるのです。もっと実態に即して選考するべきではないでしょうか。議会議のなかでさすがに区は、「今後見直します」と答弁せざるをえませんでした。また、2、3歳で認証保育園を終わつた後の保育園の受け皿が足りない問題も指摘し、認可保育園増設の抜本対策を求めました。



入園選考の評価基準の点数制、これでいいの？

まんだち日誌

- 19日 区立第三中学校の卒業式。卒業証書授与のあと心打つ送辞。答辞。さすがは中学生です。最後は、定番になつた「旅立ちの日に」と「大地賛歌」にウルツときました。昨年の娘の卒業式を思い出したのか。
- 22日 朝から地域をまわりましたが、お天気のいいお彼岸とあって、久々に町に人が溢れています。一方お留守が多くて、思ったより対話ができませんでした。残念です。
- 23日 予算特別委員会の最終日。委員の質問が切れなくなつて、結局最後は駆け足でした。共産党は、一般会計と国保・介護保険・後期高齢者の各会計の予算案に反対し、予算修正案（与党により反対されました）を提案しました。